

参画的会議の進め方

No. 221

目的

脱儀式的会議、楽しく、建設的会議の手法を学ぶ
参画的会議に求められるオープン・マインドを理解
会議出席者が満足できる運営手法を身に付ける

特長

ルール通りに進めれば、何時でも誰でも手軽に使える
短時間で課題を発見し、即効的解決策を作るのに有効

対象 一般社員・職員、チームリーダー、管理職
(最適人数 10数名 ~ 最大 30名程度)

Table of Contents (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション 研修体系における本セミナーの位置づけと役割 セミナーの目的、内容、進め方およびゴール	
1 参画的会議の基礎	会議の目的と"参画的"会議の意義 全員参加、図解で示す、論理的に説明する 事前準備と事後フォロー
2 参画的ブレイン・ストーミング	ブレイン・ストーミングとは? ブレイン・ストーミングの問題点 パルス討論(探検ネット)で、参画的に意見交換 メンバー全員で共通認識
3 会議で役立つ"推進力" 参画型ファシリテーター	「共感力」で、相手の気持を受け止める 「質問力」で、話題を展開させる 「信頼主義」で、建設的意見を引き出す 「場の力」を引き出し、創造的結論へ導く
4 "実践"「会議力」	「意見を発散させる」 「問題点を見つけ出す」 「対応策を考える」
振り返りとまとめ 反省点および達成度の確認 気づきとアンケート	

チームの力を引き出す「板書力」

No. 222

目的

ファシリテーター必須の板書力の基礎を学ぶ
会議を活性化させる"推進力"の基礎を身に付ける
"場の力"を引き出し、創造的合意へ至る重要性を理解

特長

参画社会の元祖・川喜田二郎の野外科学の"現場主義"
脱"形式"で、本音を語らせ、組織の閉塞感を打破

対象 営業、顧客対応、チームリーダー、管理者
(最適人数 10数名 ~ 最大 30名程度)

Table of Contents (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション 研修体系における本セミナーの位置づけと役割 セミナーの目的、内容、進め方およびゴール	
1 記録力	情報収集の原則：内部探検と外部探検 点から線へ、線から面へ、野外科学の点メモ技法 感情と思考の見える化 記録を使って、記憶を整理
2 傾聴力 (聞いてはいるけど聴いてない)	傾聴の姿勢と態度 うなずきと繰り返し 表情と声のトーン 沈黙とうながし
3 会議で役立つ"推進力" 参画型ファシリテーター	「共感力」で、相手の気持を受け止める 「質問力」で、話題を展開させる 「信頼主義」で、建設的意見を引き出す 「場の力」を引き出し、創造的結論へ導く
4 "実践"「板書力」	板書の楽しさを味わう 押し付け型から、自主的発想型へ 自分で「まとめる」から、相手に任せ「まとまる」へ
振り返りとまとめ 反省点および達成度の確認 気づきとアンケート	